

授業科目：形態機能学 I	講師名：辻本 勉	I 単位 30 時間 履修時期 1年生前期
【科目目標】 人体の発達と構成について理解し、正常な身体の形態と機能を系統的に学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	序章 人体の構造と機能を学ぶために考えること	講義
2	序章 人体の構造と機能を学ぶために考えること	講義
3	第1章 生理学総論(体液とホメオスタシス)	講義
4	生理学総論(体液とホメオスタシス)	講義
5	生理学総論(体液とホメオスタシス)	講義
6	第3章 呼吸器のしくみ(呼吸気量とガス交換)	講義
7	呼吸中枢と呼吸調整	講義
8	血液の構造と機能	講義
9	血液のしくみ(赤血球、白血球、血小板)	講義
10	血液(血漿タンパク、血液凝固、血液型)	講義
11	第4章 循環器の構造、心臓の構造	講義
12	心拍出量とその調整	講義
13	心電図	講義
14	心臓の収縮 心室の圧—容量の関係 心臓、血管機能	講義
15	終講試験	
【教科書】 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の機能I 医学書院 解剖生理学 クリアブック—第2版— 医学書院		
【参考書】 コメディカル専門基礎科目シリーズ 生理学 理工図書		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験、出欠席、授業態度を総合して評価 合計100点		

授業科目:形態機能学Ⅱ	講師名:尾家 慶彦	Ⅰ 単位 30 時間 履修時期 Ⅰ年生前期
【科目目標】 人体の発達と構成について理解し、正常な身体の形態と機能を系統的に学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	骨格と筋・概論Ⅰ	講義
2	骨格と筋・概論Ⅱ	講義
3	体幹の骨格と筋	講義
4	四肢の骨格と筋Ⅰ	講義
5	四肢の骨格と筋Ⅱ	講義
6	四肢の骨格と筋Ⅲ	講義
7	頭頂部の骨格と筋	講義
8	筋の収縮	講義
9	運動と代謝	講義
10	神経系ならびに脊髄の構造と機能	講義
11	脳の構造と機能	講義
12	脊髄神経と脳神経	講義
13	感覚/運動機能と上/下行伝導路	講義
14	体表からみた人体の構造	講義
15	終講試験	
【教科書】 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の機能Ⅰ 医学書院 解剖生理学 クリアブックー第2版ー 医学書院		
【参考書】 コメディカル専門基礎科目シリーズ 生理学 :理工図書		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験、出欠席、授業態度から総合して評価 合計100点		

授業科目：形態機能学Ⅲ	講師名：西方 真弓	1 単位 30 時間 履修時期 1 年生前期
【科目目標】 人体の発達と構成について理解し、正常な身体の形態と機能を系統的に学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	第2章 栄養の消化と吸収	講義
2	第2章 栄養の消化と吸収	講義
3	第2章 栄養の消化と吸収	講義
4	第2章 栄養の消化と吸収	講義
5	第2章 栄養の消化と吸収	講義
6	第2章 栄養の消化と吸収	講義
7	第5章 体液の調整と尿の生成	講義
8	第5章 体液の調整と尿の生成	講義
9	第5章 体液の調整と尿の生成	講義
10	第5章 体液の調整と尿の生成	講義
11	第5章 体液の調整と尿の生成	講義
12	第6章 内臓機能の調整	講義
13	第6章 内臓機能の調整	講義
14	第6章 内臓機能の調整	講義
15	終講試験	
【教科書】 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能Ⅰ 医学書院 解剖生理学 クリアブック—第2版— : 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】		
【評価方法】 講義中に実施するミニテスト、課題テスト、筆記試験の結果から総合的に評価 合計100点		

授業科目:形態機能学Ⅳ	講師名: 西方 真弓	Ⅰ 単位 30 時間 履修時期 Ⅰ年生前期
【科目目標】 人体の発達と構成について理解し、正常な身体の形態と機能を系統的に学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	第6章 内臓機能の調整	講義
2	第6章 内臓機能の調整	講義
3	第6章 内臓機能の調整	講義
4	第8章 情報の受容と処理	講義
5	第8章 情報の受容と処理	講義
6	第8章 情報の受容と処理	講義
7	第8章 情報の受容と処理	講義
8	第9章 身体機能の防御と適応	講義
9	第9章 身体機能の防御と適応 B生体の防御機構	講義
10	第9章 身体機能の防御と適応	講義
11	第9章 身体機能の防御と適応	講義
12	第10章 生殖・発生と老化のしくみ	講義
13	第10章 生殖・発生と老化のしくみ	講義
14	第10章 生殖・発生と老化のしくみ	講義
15	終講試験	
【教科書】 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能Ⅰ 医学書院 解剖生理学 クリアブック—第2版— : 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】		
【評価方法】 講義中に実施するミニテスト、課題テスト、筆記試験の結果から総合的に評価 合計100点		

授業科目:代謝と栄養 I ★		講師名: 江口 裕伸 研究員	1 単位 30 時間 履修時期 1年生前期
【科目目標】 人体の構成成分である化学物質の正常、分布および代謝について学ぶ。			
回数	講義内容	学習方法	
1	細胞の成り立ち、代謝総論	講義	
2	糖質の構造と機能、糖質代謝 I	講義	
3	糖質代謝2	講義	
4	脂質の構造と機能、脂質代謝 I	講義	
5	脂質代謝2	講義	
6	タンパク質の構造と機能、タンパク質代謝 I	講義	
7	タンパク質代謝2、酵素の性質と作用	講義	
8	ポルフィリン代謝、代謝の異常	講義	
9	核酸の構造と代謝、遺伝子の複製	講義	
10	遺伝情報、転写と翻訳、遺伝子の修復	講義	
11	ビタミンの性質と疾患	講義	
12	シグナル伝達、ホルモンの作用と疾患 I	講義	
13	ホルモンの作用と疾患2	講義	
14	先天性代謝異常症、がん、まとめ	講義	
15	終講試験	講義	
【教科書】 系統看護学講座 専門基礎分野 生化学 人体の構造と機能2 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター、DVD			
【評価方法】 筆記試験+授業態度、出席回数などにより評価 合計100点			

授業科目:代謝と栄養Ⅱ★	講師名: 山本 國夫 管理栄養士	Ⅰ 単位 30 時間 履修時期 Ⅰ年生後期
【科目目標】 人間にとっての代謝と栄養の意義を確認させ、食事療法の基本を学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	代謝と栄養の基礎 代謝と関係する時間栄養学	講義
2	たんぱく質の代謝	講義
3	脂質の代謝	講義
4	炭水化物の代謝	講義
5	ビタミン、ミネラル、水の代謝	講義
6	日本人の食事摂取基準の概念	講義
7	日本人の食事摂取基準 エネルギーと各栄養素の必要量	講義
8	栄養ケアマネジメント 栄養スクリーニングと栄養アセスメント	講義
9	糖尿病と食事療法	講義
10	高血圧症と食事療法	講義
11	脂質異常症と食事療法	講義
12	慢性腎臓病と食事療法	講義
13	がん悪液質と栄養療法	講義
14	高齢者の栄養管理	講義
15	終講試験	
【教科書】 講義回ごとに講義資料を配布する。		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験:100点		

授業科目:疾病論★	講師名: 山田 盛男 研究員	1 単位 30 時間 履修時期 2年生前期
【科目目標】 主な病因と病変の特徴を理解し、系統別疾患の病態生理の学習につなげる。		
回数	講義内容	学習方法
1	病態の考え方、退行性病変(変性、壊死、萎縮)	講義および 質疑応答
2	進行性病変(肥大、過形成、再生、化生、創傷治癒)	
3	腫瘍①(良性腫瘍と悪性腫瘍)	
4	腫瘍②(上皮細胞と非上皮細胞)	
5	腫瘍③(腫瘍の組織学的分類)	
6	腫瘍④(悪性腫瘍の直接浸潤、播種性転移)	
7	腫瘍⑤(リンパ行性・血行性転移、癌種と肉腫の差異、TNM分類)	
8	腫瘍⑥(悪性腫瘍の発生原因、その他の重要事項)	
9	循環障害①(酸素・還元ヘモグロビン、充血、貧血、出血)	
10	循環障害②(うっ血、側副循環、チアノーゼ、ショック)	
11	循環障害③(血栓症、塞栓症、梗塞症)	
12	循環障害④(粥状硬化症、細動脈硬化症<高血圧>)	
13	循環障害⑤(脳卒中、水<浮>腫)	
14	循環障害⑥(アシドーシス・アルカローシス)	
15	炎症①(急性炎症と慢性炎症の特徴と比較)	
	終講試験	
【教科書】 教員作成の講義用テキスト 系統看護学講座 専門基礎 病理学—疾病のなりたちと回復の促進 I 病理学 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験+授業中の質疑応答による得点 合計100点		

授業科目：疾病と治療 I ★		医師他	2 単位 38 時間 履修時期 1 年生後期
【科目目標】 主な治療法について理解し、系統別疾患学習につなげる。			
内容	麻酔法	講師名：野間 秀樹 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	麻酔の基本概念、麻酔の歴史、麻酔方法の種類・方法、術前評価		講義
2	術中管理、術後管理、手術管理		講義
内容	呼吸器外科	講師名：長谷川 誠紀 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	呼吸器の外科治療、処置、および疾患の理解1		講義
2	呼吸器の外科治療、処置、および疾患の理解2		講義
3	呼吸器の外科治療、処置、および疾患の理解3		講義
内容	呼吸器内科	講師名：片上 信之 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	第1章 呼吸器の看護を学ぶにあたって A医療の動向と看護 呼吸器疾患の動向		講義
2	第2章 呼吸器の基礎知識・検査		講義
3	第3章 症状とその病態生理 第5章 疾患の理解と治療 A 感染症		講義
4	第5章 疾患の理解と治療 B 間質性肺疾患 C 気道疾患 E 呼吸不全 G 肺腫瘍		講義
5			講義
6			講義
内容	医療機器	講師名：臨床工学技士	
回数	講義内容		学習方法
1	ME機器（人工呼吸器・人工透析装置・心電図モニター・輸液ポンプ等）の基礎知識		講義
2	ME機器（人工呼吸器・人工透析装置・心電図モニター・輸液ポンプ等）の操作・管理		演習

内容	循環器	講師名：宝塚市立病院 医師
1	心臓の解剖と高血圧	講義
2	心電図、不整脈	講義
3	検査と治療 虚血性心疾患各論	講義
4	心不全、弁膜症、心筋炎	講義
5		
6	胸痛、呼吸困難、浮腫、動悸、失神、めまい、ショック、下肢の疼痛などの症状	講義
	終講試験	
【教科書】 経過別成人看護学②周手術期看護 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学2 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学3 循環器 医学書院 基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ 医学書院		
【参考書】 講師作成資料		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験(90分)：{麻酔(10点)+呼吸器内科(60点)+呼吸器外科(20点)+ME機器(10点) +循環器(60点)} /1.6=100点		

授業科目: 疾病と治療Ⅱ★ 医師		単位 30 時間 履修時期 年生後期	
【科目目標】 代表的疾患の病態生理、症状、診断、検査、治療について学び自己学習の方法を身につける。			
内容	脳神経	講師名: 宝塚市立病院 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	脳神経系の構造と機能		講義
2	症状とその病態生理(意識レベル、頭蓋内圧亢進、脳ヘルニアを中心に)		講義
3	検査・診断と治療処置、脳疾患(脳出血を中心に)		講義
4	脳疾患(くも膜下出血、脳梗塞等 脳血管障害を中心に)		講義
5	脳疾患(脳腫瘍、頭部外傷、変性疾患等)		講義
内容	精神	講師名: 原元 燈 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	統合失調症、気分障害		講義
2	神経症、アルコール依存症、		講義
3	その他の精神障害、心的不調など		講義
4	精神科での治療		講義
内容	眼	講師名: 宝塚市立病院 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	眼の構造と機能。視機能に関連した症状。検査・治療・処置。		講義
2	白内障・緑内障・糖尿病網膜症・網膜静脈塞栓症・色覚異常		講義
内容	皮膚	講師名: 宝塚市立病院 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	皮膚科学総論。皮膚の構造、皮膚学、皮膚の老化、紫外線防御、手術療法、爪など		講義
2	皮膚科学各論。皮膚科疾患の各論。特に湿疹、蕁麻疹、膠原病、乾癬、感染症、褥瘡		講義
内容	耳鼻	講師名: 宝塚市立病院 耳鼻咽喉科 部長 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	耳鼻咽喉頭の総論		講義
2	耳鼻咽喉頭の各論		講義
終講試験			
【教科書】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学7 脳・神経 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護学1 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護学2 精神看護の展開 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学13 眼 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学12 皮膚 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学14 耳鼻咽喉 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 筆記試験: 脳神経(40点)+精神(30点)+眼(10点)+皮膚(10点)+耳鼻(10点)=100点			

授業科目:疾病と治療Ⅲ★ 医師		1 単位 28 時間 履修時期 2年生前期	
【科目目標】 代表的疾患の病態生理、症状、診断、検査、治療について学び自己学習の方法を身につける。			
内容	感染症	講師名:西 信一 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	基本的な感染症の知識を学ぶ。		講義
2	呼吸器感染症について		講義
3	食中毒・腸炎など市中消化器感染症		講義
内容	アレルギー	講師名:萩原 敬史 他 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	アレルギー		講義
2	リウマチ		講義
3	自己免疫疾患、自己炎症性疾患		講義
内容	内分泌	講師名:越智 史浩 他 医師	
回数	講義内容		学習方法
1	甲状腺疾患・副甲状腺疾患について		講義
2	肥満・脂質異常・痛風について		講義
3	下垂体疾患・副腎疾患について		講義
4	糖尿病について		講義
内容	乳腺	講師名:西野 雅行 医師	
1	乳腺疾患 解剖・発生 乳がん診断 臨床病期 家族性・遺伝性 良性疾患		講義
2	乳がんサブタイプ分類 外科手術 薬物療法 放射線治療 予後と再発転移 乳腺チーム医療		講義
内容	女性生殖器	講師: 中村 貴則 医師	
1	女性生殖器総論(解剖病理、診察・検査)		講義
2	女性生殖器総論(良性疾患、悪性疾患、感染症)		講義
終講試験			
【教科書】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学6 内分泌・代謝 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 筆記試験:感染症(25点)+アレルギー・膠原病(25点)+内分泌・代謝(30点)+乳腺(10点)+女性生殖器(10点)=100点			

授業科目:疾病と治療IV★ 医師		I 単位 16 時間 履修時期 2年生前期	
【科目目標】 代表的疾患の病態生理、症状、診断、検査、治療について学び自己学習の方法を身につける。			
内容		消化器内科	講師名:田中 弘教 医師
回数	講義内容		学習方法
1	食道、胃、十二指腸の疾患		講義
2	小腸、大腸の疾患		講義
3	肝臓の疾患		講義
内容		消化器外科	講師名:山崎 純也 医師
回数	講義内容		学習方法
1	肝臓・胆嚢・膵臓の疾患		講義
2	小腸・大腸の疾患、ヘルニア・イレウス		講義
内容		歯・口腔外科	講師名:橋谷 進 歯科医師
回数	講義内容		学習方法
1	歯・口腔の構造と機能、歯の異常と疾患、歯科治療		講義
2	炎症の疾患、口腔粘膜の疾患、口腔領域の嚢胞		講義
3	口腔領域の腫瘍と腫瘍類似疾患、口腔領域の悪性腫瘍顎骨の外傷、口腔領域の先天異常と発育異常、顎関節の疾患、唾液腺の疾患、口腔ケア		講義
		終講試験	
【教科書】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学5 消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学15 歯・口腔 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 筆記試験:消化器内科(30点)+消化器外科(30点)+歯・口腔外科(40点)=100点			

授業科目: 疾病と治療 V ★ 医師		1 単位	24 時間	履修時期	2 年生前期
【科目目標】 代表的疾患の病態生理、症状、診断、検査、治療について学び自己学習の方法を身につける。					
内容		血液・造血器		講師名: 宝塚市立病院 今戸 健人 医師	
回数	講義内容			学習方法	
1	血液疾患を疑う症状、貧血について			講義	
2	貧血(続き)と造血器腫瘍の概論			講義	
3	造血器腫瘍各論			講義	
4	造血器腫瘍各論(続き)と出血性疾患について			講義	
内容		泌尿器・男性生殖器		講師名: 鈴木 透 医師	
回数	講義内容			学習方法	
1	尿路系解剖、処置			講義	
2	各論			講義	
内容		腎臓(人工透析)		講師名: 川田 博昭 医師	
回数	講義内容			学習方法	
1	腎臓の構造・機能、尿の正常と異常、症状と病態生理			講義	
2	腎臓の機能検査、透析療法、腎不全と腎疾患			講義	
内容		運動器		講師名: 森山 徳秀 医師	
回数	講義内容			学習方法	
1	運動器の総論			講義	
2	脊椎疾患			講義	
3	関節疾患			講義	
4	外傷			講義	
		終講試験			
【教科書】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学4 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学8 腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学10 運動器 医学書院					
【参考書】					
【使用予定視聴覚機材】 PC, プロジェクター					
【評価方法】 筆記試験: 血液・造血器(35点)+泌尿器・男性生殖器(15点)+腎臓(15点)+運動器(35点) =100点					

授業科目:人体とくすり★	講師名: 大石 雅子 薬剤師	1 単位 30 時間	履修時期 1年生後期
【科目目標】 看護に必要な薬物の特徴、作用機序、人体への影響について学ぶ。			
回数	講義内容	学習方法	
1	総論:薬物とは、薬物の使用目的、薬理学とは	講義	
2	薬理学の基礎知識:薬が作用するしくみ、薬の体内動態	講義	
3	薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子	講義	
4	薬物使用の有益性と危険性、薬と法律、新薬の開発	講義	
5	抗感染症薬、抗がん薬	講義	
6	免疫治療薬、抗アレルギー薬・抗炎症薬	講義	
7	末梢での神経活動に作用する薬物(交感神経作用薬、副交感神経作用薬)	講義	
8	中枢神経系に作用する薬物:全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬	講義	
9	抗うつ薬・気分安定薬、パーキンソン病薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬	講義	
10	循環器系に作用する薬物:降圧薬、狭心症・心不全治療薬、抗不整脈薬	講義	
11	脂質異常症治療薬、血液凝固系・線溶系薬物、血液に作用する薬物	講義	
12	呼吸器系・消化器系・生殖器・泌尿器に作用する薬物	講義	
13	物質代謝に作用する薬物	講義	
14	皮膚科用薬・眼科用薬、救急の際に使用される薬物、漢方薬、消毒薬	講義	
15	終講試験		
【教科書】 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進3 薬理学 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 筆記試験:90点 小テスト:10点(webによる数回の課題提出)			

授業科目：人体と微生物★	講師名： 和田 恭直 臨床検査技師	1 単位 30 時間 履修時期 1年生前期
【科目目標】 微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解し、感染予防、免疫に対する正しい知識を学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	微生物とは？	講義
2	医療現場における微生物①原虫からウイルスまで	講義
3	医療現場における微生物②細菌 グラム陽性菌	講義
4	医療現場における微生物③細菌グラム陰性菌	講義
5	細菌（真菌、抗酸菌）形態と染色	講義
6	感染と発病（コンプロマイズドホスト）	講義
7	院内感染と薬剤耐性菌について	講義
8	薬剤感受性（抗菌剤）について	講義
9	標準予防策について	講義
10	スライド 微生物 power point	視聴覚教室
11	スライド 感染制御（標準予防策を中心に） power point	視聴覚教室
12	実習（手指、咽頭粘膜）手洗いと上気道常在菌	実習
13	実習（手指、咽頭粘膜）手洗いと上気道常在菌	実習
14	感染症法1～5類について 消毒と滅菌について	講義
15	終講試験	講義
【教科書】 講義資料、実習資料（作成したもの）を配布 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進4 微生物学 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 講義・実習態度および筆記試験 合計100点		

授業科目:形態機能と看護★講師名: 真辺恵子 看護師		1 単位 20 時間 履修時期 3年生前期
【科目目標】 対象の健康状態を正しく理解し適切な援助技術を選択し、組み合わせ、実施できる 1. 必要な学習に主体的に取り組む。 2. 障害により受けた変化(形態と機能)が対象の生活にどう影響しているか明らかにする 3. 対象の状況に応じて安全安楽な日常生活援助技術に取り組む。 4. 自己の課題を明確にする。		
回数	内容	学習方法
1	1 健康状態の理解 障害により受けた変化(形態と機能)が対象の生活にどう影響しているか明らかにする(4側面の視点で)	事前に配布された事例について個人で1の内容について学習しまとめておく。グループワーク
2	1についてグループでまとめる	グループワーク
3	2 1で理解したことを活用して必要な日常生活援助の計画立案	グループワーク
4	2 1の内容を中心にグループ毎に発表し、補い合う	グループ発表
5	3 援助の実践, 評価(グループ員全員が実践し、自己評価ピア評価を繰り返す)	グループ演習 筆記試験
6		
7		
8	4 援助の実践, 評価(グループの代表が実践し、自己評価ピア評価を実施)	技術試験
9		
10	ピア評価 まとめ	ピア評価
【教科書】 事例により選択		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 その時間により指示します		
【評価方法】 筆記試験+技術試験+ピア評価=100点		

授業科目:社会福祉★	講師名: 中村 美香 社会福祉士他	1 単位 30 時間 履修時期 2年生前期
【科目目標】 社会福祉の理念と歴史の変遷、及び福祉サービスの概要について理解するとともに、援助活動に必要な基礎理論について学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	オリエンテーション	講義
2	社会保障制度・社会福祉	講義
3	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	講義
4	社会福祉の歴史	講義
5	医療保障	講義
6	介護保障	講義
7	所得保障	講義
8	公的扶助	講義
9	高齢者福祉	講義
10	障害者福祉	講義
11	障害がある人の疑似体験	講義
12	児童家庭福祉	講義
13	社会福祉援助	講義
14	社会福祉実践と医療看護との連携	講義
15	終講試験	
【教科書】 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度3 社会保障・社会福祉 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 なし		
【評価方法】 筆記試験:100点		

授業科目:公衆衛生★	講師名: 仁科昌久 医師	1 単位 30 時間 履修時期 2年生前期
【科目目標】 人間と環境、疫学、衛生統計の情報を理解し、組織的な保健活動について学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	公衆衛生の定義を含むIntroduction	講義
2	予防医学の基礎	講義
3	統計と疫学 Evidence	講義
4	健康の指標 人口問題 生命表 感染症①	講義
5	感染症②(検疫感染症 1~5類感染症他) STD 食品衛生法 食中毒	講義
6	食育推進 国民栄養 環境保全 公害 廃棄物処理法	講義
7	医療介護の保証制度①	講義
8	医療介護の保証制度② 地域保健活動 ヘルスサービスの構造①	講義
9	医療介護の保証制度② 母子保健①	講義
10	医療介護の保証制度② 学校保健 生活習慣病①	講義
11	生活習慣病② 難病対策①	講義
12	生活習慣病② 健康教育とヘルスプロモーション 精神保健福祉	講義
13	産業保健	講義
14	産業保健 公衆衛生総論	講義
15	終講試験	
【教科書】 系統看護学講座 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向(1年次購入)		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 なし		
【評価方法】 筆記試験:100点		

授業科目:保健と医療★	講師名: 栗田 義博 医師	1 単位 16 時間 履修時期 1年生前期
【科目目標】 保健・医療・福祉の総合における、現代社会の問題と国民の健康ニーズへ応えていくための、これからの課題とありようを考える。		
回数	講義内容	学習方法
1	序章 医療コミュニケーションの原点にさかのぼる	講義
2	第1章 生きることと死ぬこと	講義
3	第2章 医学と医療	講義
4	第3章 保健・医療・介護(Ⅰ)	講義
5	第3章 保健・医療・介護(Ⅱ)	講義
6	第4章 医療と社会	講義
7	第5章 医療経済学と医療政策	講義
8	終講試験	
【教科書】 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度Ⅰ 医療概論 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】		
【評価方法】 筆記試験:100点		

授業科目：看護と法★	講師名： 森合真一 社会福祉士	1 単位 30 時間 履修時期 3年生 通年
【科目目標】 1.看護職に関する基本法規を理解する。 2.看護職者として働くために関係する法規を学習する。 3.学習した法規をもとに、看護職としての職務を遂行するための根拠・判断基準がわかる。		
回数	講義内容	学習方法
1	オリエンテーション、法の概念	講義
2	衛生法、厚生労働行政のしくみ	講義
3	看護法（保健師助産師看護師法①）	講義
4	看護法（保健師助産師看護師法②、看護師等の人材確保の推進に関する法律）	講義
5	医事法（医療法、医療に関する資格①）	講義
6	医事法（医療に関する資格②、保健・福祉・衛生に関する資格）	講義
7	医療を支える法（医療・介護の提供体制、移植医療）	講義
8	医療を支える法（地域振興における看護の役割、緊急時の看護・医療）	講義
9	保健衛生法（共通保健法令、分野別保健法令、感染症に関する法令、食品・環境衛生に関する法令）、薬務法	講義
10	社会保険法（医療保険制度・介護保険制度の概要）	講義
11	社会保険法（公的年金制度の概要）	講義
12	社会保険法（労働保険制度の概要）、労働法と社会基盤整備に関する法令	講義
13	社会福祉関係法令（社会福祉法、生活保護法、民生委員法、成年後見制度の概要）	講義
14	社会福祉関係法令（児童分野、高齢分野、障害分野）、社会手当	講義
15	終講試験（筆記：100点満点）	筆記試験・講義
【教科書】 系統看護学講座専門基礎分野「看護関係法令」医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】		
【評価方法】 終講試験100%で評価		

授業科目：看護と経営★	講師名： 山角優美 看護師	1 単位 16 時間 履修時期 2年生後期
【科目目標】 1. 看護と経営の密接な関係を知ることで、看護師の役割について視野が広がり、発想が豊かになる。 2. 看護師が組織に所属する者として考える必要のある経営の精神をもつ。		
回数	内容	学習方法
1	看護師の役割を通じて経営を考える視点をもつ 自分と向き合い理解を深める。長所と短所の裏腹を表現する 時間終わりには、経営とは何かを表現してみる	講義
2	目的意識と使命感 ナイチンゲールの看護への想いは経営者精神	講義
3	看護と経営の接点 1. 看護覚書を読むと看護と経営が見えてくる 2. 今日の病院経営モデルはナイチンゲールが作った 3. 利益について勉強しよう	講義
4	私の考える看護の経営的視座 1. 能力を引き出す 2. 一人ひとりの成長 3. 自分(病院・企業)の売りを作る 自分の好きなこと・強みの熟知と発揮	講義
5	事業計画書のつくり方 グループで座る 「学校発展のために」 「学生自治会の発展のために」どちらかのテーマを選んでもらう	GWと発表
6	事業計画書 ビジョン・目標からSWOT分析実施→進行により戦略につなげる	
7	学校の発展・永続のためのプレゼン大会準備 学生自治会の発展のために1G 学校発展のために5G	
8	プレゼン大会 まとめ	
【教科書】 特になし		
【参考書】 ナイチンゲールに学ぶ ときめきの経営学, 松村啓史, メディカ出版		
【使用予定視聴覚機材】		
【評価方法】 レポート試験+ピア評価=100点		

授業科目:宝塚学Ⅱ ★	講師名:	島田 亜子 看護師 中西 仁志 他 保健師	Ⅰ 単位 30 時間 履修時期 3年生 通年
【科目目標】地域貢献 1. 組織をマネジメントし、リーダーとしての役割を理解することができる 2. 宝塚市のデータ分析を行い、健康課題と対策を導く演習を行うことで、地域看護の理解を深める 3. 地域の課題に対する多職種が連携した健康推進計画を企画し実践する 4. 後輩を導く工夫を通して、リーダー論を活用した実践をする			
回数	講義内容		学習方法
1	1. 組織とマネジメント 1) 組織とは 2) 組織構造の基本原理、マネジメント 2. リーダーシップとマネジメント 1) リーダーシップとは 2) 特性理論 3) 行動理論		講義
2	3. 宝塚市の保健師はどんな活動をしているのか 4. 健康宝塚21とは ・最大の目標は健康寿命の延伸 ・計画の策定方法 計画体系 5. データでみる宝塚市 ・あなたが保健師・市長ならどうする		講義 GW
3	6. 宝塚市の健康課題について調べ、課題達成に向けて企画書作成 *健康課題を明らかにして啓発ポスター作成		講義 GW
4	*相談会企画		
5	*SNSを使って発信 *資料を作成して配布		
6	7. 企画書の実践		各グループ実践
7			
8			
9			
10	8. 2年生の「回復期を支える実習Ⅰ」事前学習(技術練習)のなかで、チューター制 (ピアサポート)グループの支援を実施する。 (技術練習期間、事前学習期間)		担当グループの支援
11			
12			
13			
14			
15			
【教科書】 系統看護学講座 統合 看護管理 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC.プロジェクター			
【評価方法】 ・企画、実践 + ピア評価 = 100点			